

超音波診断装置 EPIQ／Affiniti シリーズにおける超音波減衰法検査の診療報酬 請求に関して



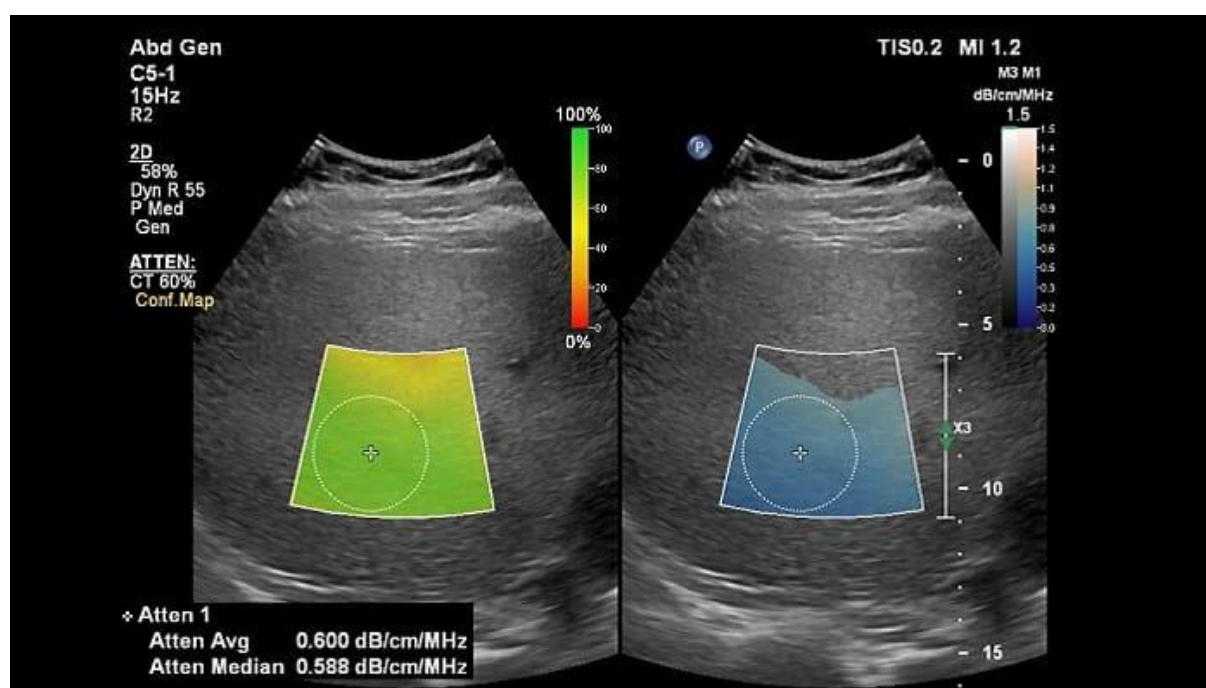
株式会社フィリップス・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：安部 美佐子、以下 フィリップス）は、超音波診断装置 EPIQ／Affiniti シリーズについて、超音波の減衰量を非侵襲的に計測し、肝臓の脂肪量を定性的に評価するための情報を提供する超音波画像診断装置として、6 月 12 日付けで

薬事認証を取得しました。EPIQ/Affiniti 超音波診断装置に搭載されている「減衰イメージング (Attenuation Imaging)」機能は、超音波の減衰量を非侵襲的に計測する技術であり、診療報酬区分番号「D215-4 超音波減衰法検査」*の算定要件を満たしています。これにより、2026 年 8 月 1 日より、本機能を搭載した EPIQ/Affiniti 超音波診断装置（既販売装置を含む）において、診療報酬請求が可能となります。

減衰イメージング「Attenuation Imaging」機能

Attenuation Imaging 機能は、肝脂肪化に伴い増加する減衰係数をカラーボックスで表示し、ボックス内に計測 ROI を配置して計測します（画面右）。また、計測値の信頼度を示す信頼度マップを同時にカラー表示することができ（画面左）、信頼性が低い領域は赤、高い領域は緑で表示されます。これにより、信頼度を視覚的に確認しながら、より計測値が安定した領域に ROI を配置でき、再現性の高い計測をサポートします。

一般的に、新機能はハイエンド装置を中心に搭載されることが多い一方、Attenuation Imaging 機能は、「EPIQ」に加え、ミドルクラスの「Affiniti」にも搭載可能です。これにより、精査を目的とした検査だけでなく、検診などのスクリーニング検査においても本機能を活用しやすく、肝脂肪化の早期評価を通じて、早期診断・治療への貢献が期待されます。



*D215-4 超音波減衰法検査 200 点

注) 区分番号 D215-2 に掲げる肝硬度測定又は区分番号 D215-3 に掲げる超音波エラストグラフィーを算定する患者については、当該検査の費用は別に算定しない。

- (1) 超音波減衰法検査は、汎用超音波画像診断装置のうち、使用目的又は効果として、超音波の減衰量を非侵襲的に計測し、肝臓の脂肪量を評価するための情報を提供するものとして薬事承認又は認証を得ているものを使用し、脂肪性肝疾患の患者であって慢性肝炎又は肝硬変の疑いがある者に対し、肝臓の脂肪量を評価した場合に、3 月に 1 回に限り算定する。
- (2) 当該検査の実施に当たっては、関係学会が定めるガイドラインを踏まえ適切に行うこと。
- (3) 区分番号「D 2 1 5－2」に掲げる肝硬度測定又は区分番号「D 2 1 5－3」に掲げる超音波エラストグラフィーについて、同一の患者につき、当該検査実施日より 3 月以内に行われたものの

費用は、原則として所定点数に含まれるものとする。ただし、医学的な必要性から別途肝硬度測定又は超音波エラストグラフィーを算定する必要がある場合には、診療報酬明細書の摘要欄にその理由及び医学的根拠を詳細に記載すること。

販売名：超音波画像診断装置 EPIQ／Affiniti

医療機器認証番号：225ADBZX00148000

管理医療機器／特定保守管理医療機器

フィリップス・ジャパンについて

株式会社フィリップス・ジャパンは、ロイヤルフィリップスの日本法人として 1953 年に創業以来、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指しています。主な事業領域は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、睡眠・呼吸治療、およびパーソナルヘルスと多岐に渡ります。ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーとして、超高齢化が進む日本の医療・健康課題解決に向け取り組んでいます。

日本の従業員数は約 2,000 人、約 70 拠点でビジネスを展開しています。（<https://www.philips.co.jp>）

ロイヤルフィリップスについて

ロイヤルフィリップス（NYSE:PHG, AEX:PHI）は、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指す、ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーです。

フィリップスの革新的技術は人々を中心に設計されています。先進的技術と医療従事者および消費者のインサイトを活用し、消費者にはパーソナルヘルスソリューションを、医療従事者とその患者様には病院や家庭でのプロフェッショナルヘルスソリューションを提供しています。

オランダに本社を置く当社は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、およびパーソナルヘルスの分野で世界をリードしています。フィリップスの 2025 年の売上高は 180 億ユーロ、全世界に約 64,800 人の従業員を擁し、世界 100 か国以上でビジネスを展開しています。フィリップスに関するニュースはこちらからご覧ください。

（<http://www.philips.com/newscenter/>）

医療機器および企業に関するお問い合わせ

株式会社フィリップス・ジャパン

コミュニケーション担当

press@philips.com